



学ぶ 伸びる 育つ 中央っ子3

やさしく
かしく
たくましく

第11号
令和7年11月13日
中央小学校
文責 上原

実りの秋から季節は冬へ

十一月七日は「立冬」でした。

立冬は、日本の季節の目安となる二十四節気の一つで、暦の上ではこの日から冬が始まります。それに合わせるように、今週は気温も低くなり、特に朝は寒さを感じるようになりました。各地では、紅葉の見ごろを迎えている所も多いようです。

登校してくる子どもたちの服装も一・二週間前とは随分かわりました。先日、「見て、見て。」と言いつつ、「はあー」とはいた息が白くなるのを楽しんでいる子もいました。



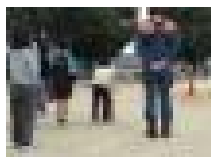
季節の変わり目は、体調を崩しがちです。併せて、インフルエンザなど感染症の流行も始まっているようです。生活リズムを整え、バランスの良い食事と適度な運動、十分な睡眠、そして、手洗いとうがいなど衛生面にも気を付けながら、健康な毎日を送りましょう。

地震・火災避難訓練

十一月十一日（火）に、地震発生後に火災が発生したことを想定した訓練を行いました。

「地震が発生しました。」という校内放送が流れ、各教室の子どもたちは机に潜り、身を守る態勢をとりました。その後、家庭科室から火災が発生したと仮定し避難をしたのですが、今回は停電により校内放送が使えない状況を想定し、職員室にいる職員が手分けして各教室に避難を知らせました。

訓練とは言え、子どもたちも真剣に取り組み、およそ四分ほどで全校児童が運動場に避難しました。



運動場では、消防署の方から、命を守るための避難の仕方や行動、消火器の使い方について教えていただきました。地震はいつ起こるかわかりませんが、火を使う機会も増えます。学んだことを覚えておきましょう。

地域に学ぶ

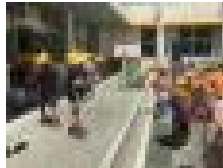
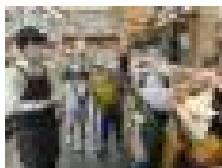
地域とともに

学校では、国語や算数など主に教科書を使って学ぶ学習以外に、生活科や総合的な学習の時間等に、地域や市外に出かけて見学や調べ学習をしたり、地域の方などに学校に来ていただきお話を聞いたりする機会を設けています。

一年生では、近隣の公園や施設等に出かけ、探検や活動を通して、校区の様子や身近にある施設について学びます。今年度は、近隣の小学校や園との交流活動も行いました。

二年生では、町探検として、校区にあるお店や施設などについて調べます。また、大牟田市動物園で、飼育員さんの話も聞きました。

三年生では市内の施設等や消防署を見学したり、特産の荒尾梨について、梨農家の方のお話を聞いたのりします。働く人の思いや願い、荒尾のよさを知る機会となりました。



四年生では、通潤橋を訪れ、先人の知恵や功績について学びます。また、高齢者疑似体験や点字の学習などを通して、福祉について学び、社会を支える一員としての態度を育てます。

五年生になると、集団宿泊教室で訪れた水俣での学習を生かして、環境について学んだり、荒尾市の花の道プロジェクトの活動への参加を通して街の美化などについても考えます。荒尾干潟でマシヤク釣りの体験もしました。

そして、六年生では、これまでの学習を生かし、校区や地域を盛り上げ、感謝の気持ちを伝えることを目的に、十月に「中央感謝祭」に取り組みました。

これらの学習や体験を通して、校区のこと、荒尾市のことを知り、そのよさを再発見するとともに、自分たちの故郷に愛着と誇りを持って欲しいと願っています。

